



谷笑楽校で、毎月恒例のヨガ教室が開催されました。
ヨガは、呼吸を整えながら全身を使ったポーズをとることで、身体の滞りを取り、体力や筋力の向上などを促すというもの。講師に動きを教えてもらい、当日は7人が参加し、無理せず全身の力を抜いてリラックスしながら、約1時間ゆっくりと身体を動かしました。



気持ちも身体もおだやかに やさしいヨガ教室



息を吸ったり吐いたりリラックスできます

8.27
火

第71回谷地区町民体育大会が谷笑楽校で開催されました。
当日は高齢者から赤ちゃんまで多くの住民が参加。谷公民館の門脇館長は「谷地区の皆さんの元気な顔や子どもたちの成長を見守ってほしい。怪我のないよう楽しみましょう」と挨拶。畑田、井戸谷、塩谷の3チームに分かれてさまざまな競技が行われ、アットホームな大会となりました。



対抗戦でさまざまな競技に挑戦！ 谷地区町民体育大会



粉の中のあめ玉を、手を使わずに見つけます

8.25
日

災害時の命の守り方を学ぶ「防災キャンプ」が赤名農村環境改善センターで開催されました。
今回の防災キャンプのテーマは「自由」。何をするかの内容は決めず、参加者が考えます。参加した赤名小の児童、赤来中の生徒6人は、協力しながら興味を持ったテントや、自分たちの寝るためのダンボールベッドを組み立てました。



自分にできることを考えて 防災キャンプ



ダンボールを使って、個人空間を作ります

9.7
～8日

さつき会館を会場に「第27回納涼!! 志々公民館まつり」が開催されました。
さつき保育所児童の太鼓演奏と志々小児童の合唱とダンスでイベントがスタート。青少年・一般の主張や手話サークルの発表、地域住民の皆さんによる「地域づくり啓発劇」などが行われ、会場は笑い声や拍手が響いていました。



地域みんなで盛り上げる 志々公民館まつり



地域づくり啓発劇では、アドリブもあり、会場から笑い声が

8.31
土



高校生の神楽を飯南で 神楽舞in飯南

令和元年に結成した飯南高校生命地域ラボ神楽愛好会OBが主催する「第1回神楽舞in飯南」が、赤名農村環境改善センターで開催されました。
公演では、先日の神楽甲子園で日藝選奨を2年連続で受賞した飯南高が「土蜘蛛」を披露。県内外からの300人を超える観覧者からの大きな拍手と歓声に会場が包まれました。



イベントを企画した神楽愛好会OBの皆さん

他にも江津高、邇摩高、広島県のおおぞら子供神楽団と高井神楽団の4団体もそれぞれ演目を披露。幕間には、神楽グッズや飯南町の特産品が当たる抽選会も行われ会場が盛り上がりました。
主催したOB会長の中野愛翔さんは「昨年度の愛好会5周年公演に引き続き2回目の企画になりました。不安もありましたが、多くの方に来場していただき感謝しています。今後もいろいろなことに挑戦しながら、神楽愛好会の支援を続けていきたいです」と話していました。



飯南高の公演ではこの日一番の盛り上がり

8.24
土



暑さに負けずハツラツと ソフトボール交流大会

赤名山村広場で「赤来地区ソフトボール交流大会」が開催されました。
大会には上赤名、小田真木、上來島、下来島の4チームが参加。楽しみながらも集中したプレーで熱戦を繰り広げました。交流大会後には、2030島根県かみあり国民スポーツ大会に向けたチーム「スラッグーズSC」と各チームからの選抜メンバーによる試合も行われました。
参加者は「ソフトボールをするのは久しぶりでしたが、ヒットも打って満足です」と話していました。



審判員や記録員も資格を取得した町民の皆さんが担当

8.24
土



暑さも吹き飛ばす恐怖体験 お化け屋敷ふえふの館

ふれあいホールみせんで、とんぼら探検隊ふえふ実行委員会主催のお化け屋敷「ふえふの館」が開催されました。
開催に向けて数日前から設営が始められ、館内は手作りながら本格的なお化け屋敷の会場となりました。参加者は、真つ暗な会場を恐る恐る進み、迫力の演出を体験。お化けに驚いて大きな声を上げる子や、後ろから追いかけて逃げた子など、ハラハラドキドキ。
当日は62人が参加し、暑い夏に涼と思いを求めて多くの人でにぎわいました。



ボロンボロンとピアノを弾くピエロ

8.24
土